

1 令和5年度(2023年度)新規就農者の概要

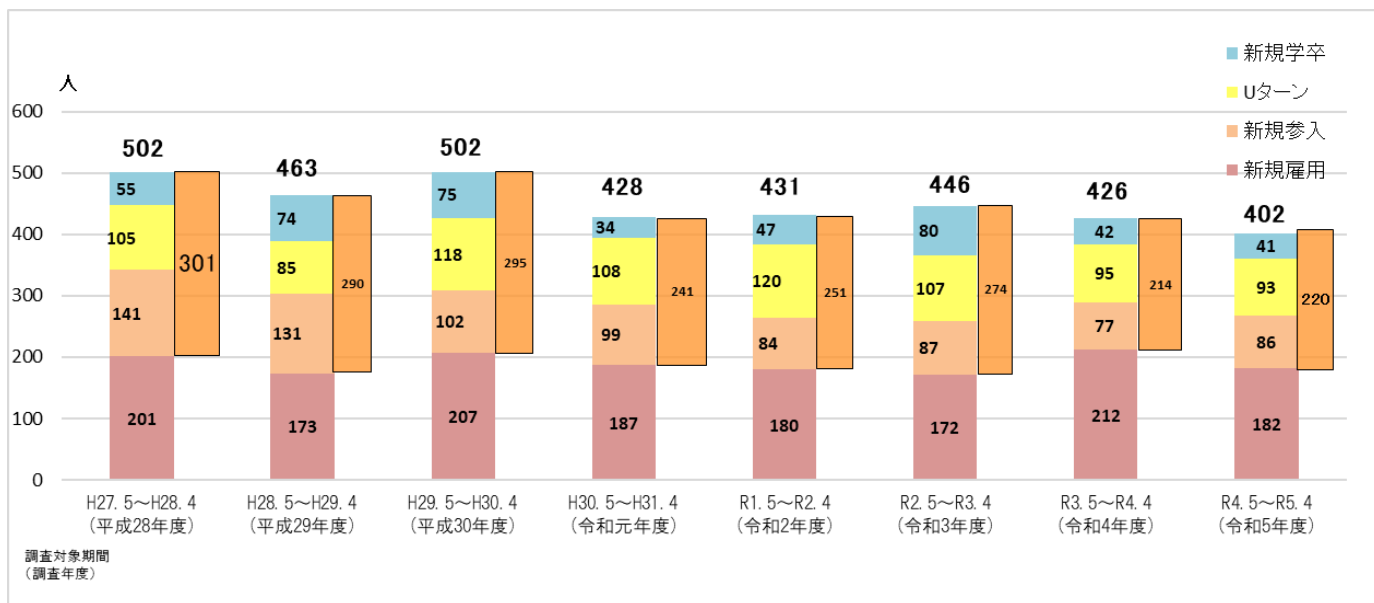
(1) 新規就農者の年次別推移

令和5年度(2023年度)の新規就農者(新規学卒、Uターン、新規参入、新規雇用)は、402人となり、前年より24人減少した。

新規就農者の内訳をみると、新規学卒就農者は前年より1人減の41人、Uターン就農者が2人減の93人、農外からの新規参入者は9人増の86人となった。

また、農業法人等への就職就農や農業参入企業に雇用された新規雇用者数は、前年より30人減の182人となった。(図1)

図1 年次別新規就農者の推移



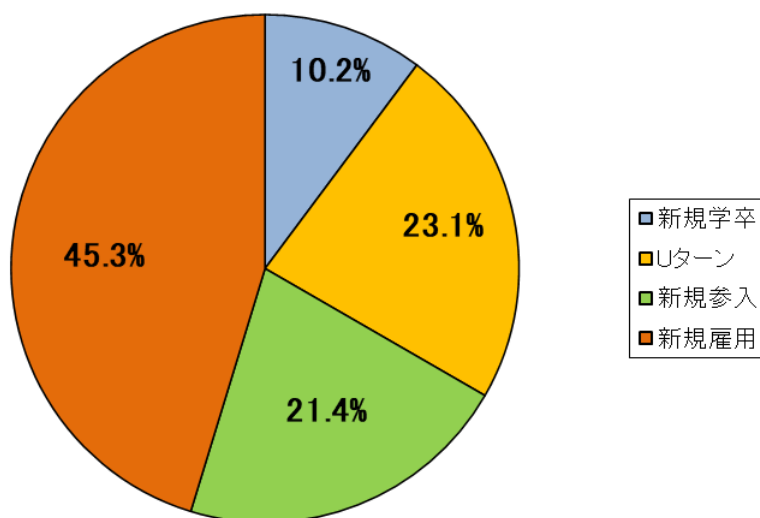
(2) 新規就農者の内訳

令和5年度(2023年度)の新規就農者数を就農形態別に見ると、「新規学卒」は前年(42人)より1人減少し41人(全体の10.2%)、「Uターン」は前年(95人)より2人減少し93人(全体の23.1%)、「新規参入」は前年(77人)より9人増加し86人(全体の21.4%)、「新規雇用」は前年(212人)より30人減少し182人(全体の45.3%)となった。

表1 新規就農者の就農形態別人数

	令和5年度(2023年度)	
	人数(人)	割合(%)
新規学卒	41	10.2
Uターン	93	23.1
新規参入	86	21.4
小計	220	54.7
新規雇用	182	45.3
合計	402	100

図2 新規就農者の就農形態別割合の比較



(3) 新規就農者の年齢構成

新規就農者を年齢構成別に見ると、「26歳～40歳以下」が42.0%で最も多く、次いで「25歳以下」が35.3%、「41歳以上」が22.6%の順となった。

就農形態別に見ると、「新規学卒」では「25歳以下」が80.5%を占めている。

「新規参入」では「26歳～40歳以下」が60.5%を占めている。

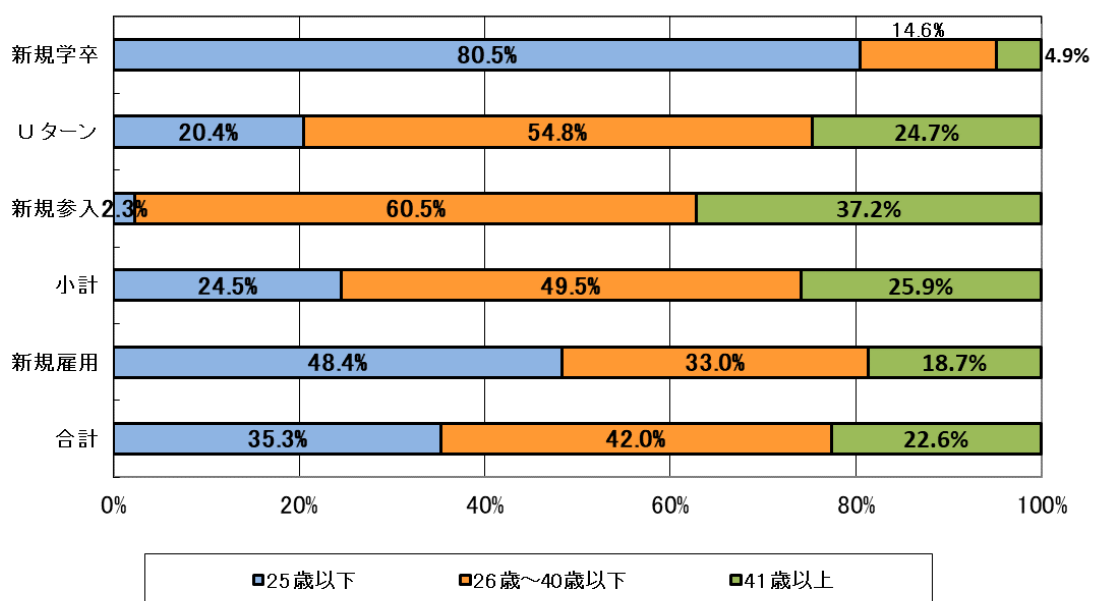
また、「新規雇用」では、「25歳以下」が48.4%を占め、「26歳～40歳以下」を加えると81.3%を占めている。(表2、図3)

表2 新規就農者の年齢構成別内訳

(単位:人、%)

区分	25歳以下			26歳～40歳以下			41歳以上			合計			比率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
新規学卒	32	1	33	5	1	6	1	1	2	38	3	41	10.2
Uターン	18	1	19	46	5	51	22	1	23	86	7	93	23.1
新規参入	1	1	2	36	16	52	23	9	32	60	26	86	21.4
小計	51	3	54	87	22	109	46	11	57	184	36	220	54.7
新規雇用	62	26	88	49	11	60	26	8	34	137	45	182	45.3
合計	113	29	142	136	33	169	72	19	91	321	81	402	100.0
構成比(%)	28.1	7.2	35.3	33.8	8.2	42.0	17.9	4.7	22.6	79.9	20.1	100.0	

図3 新規就農者の年齢構成別比較



(4) 地域別新規就農者数

新規就農者(新規学卒、Uターン、新規参入、新規雇用)を地域別で見ると、阿蘇地域が73人で最も多く、次いで菊池地域が71人、熊本地域が67人となった。

就農形態で見ると、「新規学卒」では、最も多いのが阿蘇地域の8人、次いで熊本及び上益城、菊池地域の5人となった。「Uターン」では、菊池及び球磨地域が14人、次いで阿蘇地域が12人となった。「新規参入」では、熊本地域が19人で最も多く、次いで鹿本及び阿蘇地域が15人となっている。

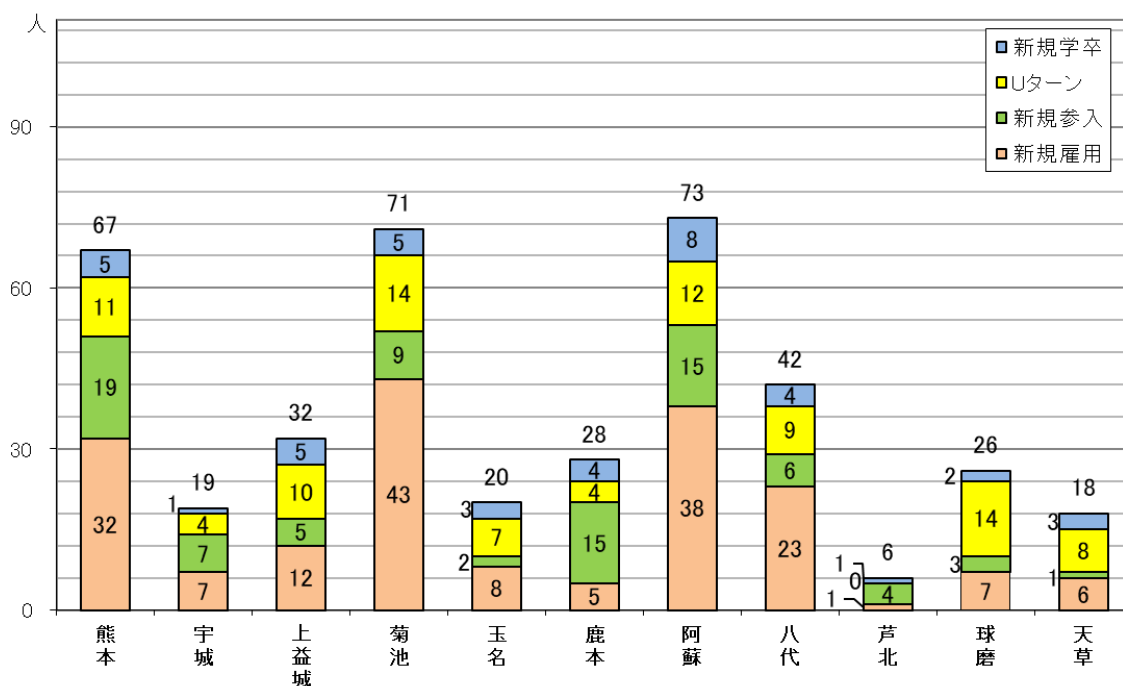
また、「新規雇用」では、菊池地域の43人が最も多く、次いで阿蘇地域が38人となった(表3、図4)

表3 地域別新規就農者

(単位：人、%)

区分	新規学卒		Uターン		新規参入		小計		新規雇用		合計		
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	
県央	熊本	5	7.5	11	16.4	19	28.4	35	52.2	32	47.8	67	100.0
	宇城	1	5.3	4	21.1	7	36.8	12	63.2	7	36.8	19	100.0
	上益城	5	15.6	10	31.3	5	15.6	20	62.5	12	37.5	32	100.0
県北	菊池	5	7.0	14	19.7	9	12.7	28	39.4	43	60.6	71	100.0
	玉名	3	15.0	7	35.0	2	10.0	12	60.0	8	40.0	20	100.0
	鹿本	4	14.3	4	14.3	15	53.6	23	82.1	5	17.9	28	100.0
	阿蘇	8	11.0	12	16.4	15	20.5	35	47.9	38	52.1	73	100.0
県南	八代	4	9.5	9	21.4	6	14.3	19	45.2	23	54.8	42	100.0
	芦北	1	16.7	0	0.0	4	66.7	5	83.3	1	16.7	6	100.0
	球磨	2	7.7	14	53.8	3	11.5	19	73.1	7	26.9	26	100.0
天草	3	16.7	8	44.4	1	5.6	12	66.7	6	33.3	18	100.0	
合計	41	10.2	93	23.1	86	21.4	220	54.7	182	45.3	402	100.0	

図4 地域別新規就農者数



(5) 経営類型別新規就農者数

新規就農者を経営類型別に見ると、施設野菜が110人(全体の27.4%)と最も多く、次いで、露地野菜60人(14.9%)、果樹類45人(11.2%)の順となっている。

畜産部門では、肉用牛が38人(9.5%)、酪農が37人(9.2%)、養豚が19人(4.7%)、養鶏が5人(1.2%)となっている。

なお、「新規学卒」では、施設野菜が18人と最も多く、次いで肉用牛が8人となっている。「Uターン」でも施設野菜が29人と最も多く、次いで果樹類及び肉用牛が15人となっている。また、「新規参入」では、施設野菜が36人と最も多く、次いで露地野菜が19人、果樹類が13人となっている。

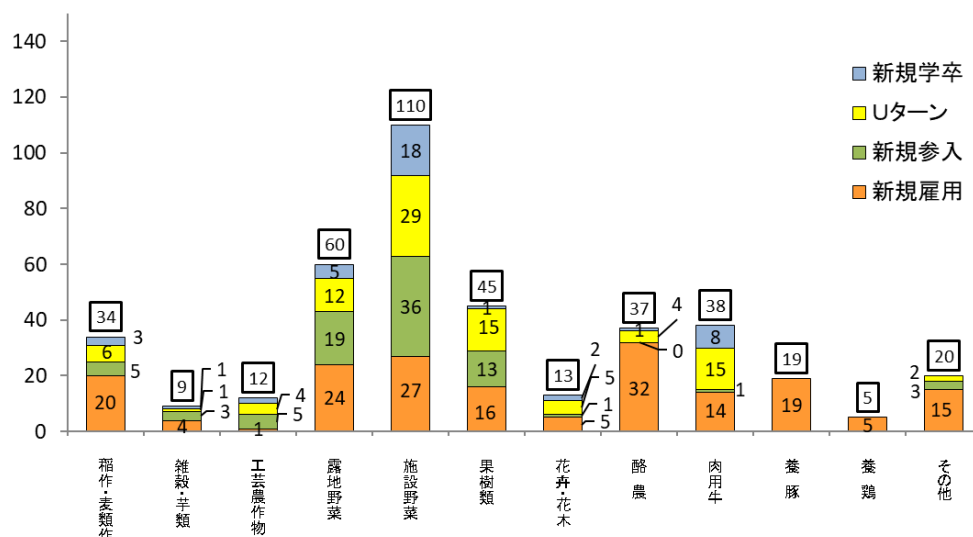
さらに「新規雇用」では、酪農が32人と最も多く、次いで施設野菜が27人、露地野菜が24人となっている。(表5、図5)

表5 経営類型別新規就農者

(単位：人,%)

区分	稲作・麦類作	雑穀・芋類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花卉・花木	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他	計
新規学卒	3	1	2	5	18	1	2	1	8	0	0	0	41
Uターン	6	1	4	12	29	15	5	4	15	0	0	2	93
新規参入	5	3	5	19	36	13	1	0	1	0	0	3	86
計	14	5	11	36	83	29	8	5	24	0	0	5	220
新規雇用	20	4	1	24	27	16	5	32	14	19	5	15	182
計	34	9	12	60	110	45	13	37	38	19	5	20	402
構成比(%)	8.5	2.2	3.0	14.9	27.4	11.2	3.2	9.2	9.5	4.7	1.2	5.0	100.0

図5 経営類型別新規就農者数



(6) 新規学卒就農者の内訳

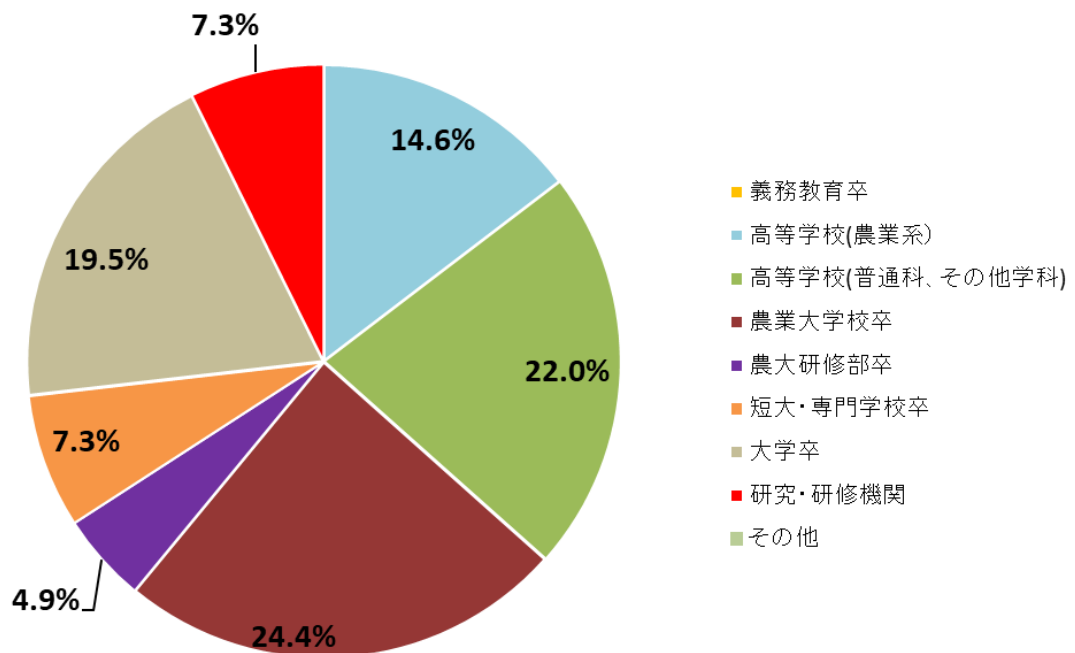
新規学卒就農者の最終学歴別内訳は、「農業大学校卒」が10人(24.4%)で最も多い。次いで、高等学校出身者のうち「普通科、その他学科」が9人(22.0%)となっている。(表6、図6)

表6 新規学卒就農者の最終学歴別内訳

(単位:人、%)

学 校 種 別	男	女	計	比率(%)	
義務教育卒	0	0	0	0.0	
高等学校	(農業系)	6	0	6	14.6
	(普通科、その他学科)	8	1	9	22.0
農業大学校卒	10	0	10	24.4	
農大研修部卒	2	0	2	4.9	
短大・専門学校卒	1	2	3	7.3	
大学卒	8	0	8	19.5	
研究・研修機関	3	0	3	7.3	
その他	0	0	0	0.0	
合計	38	3	41	100.0	

図6 新規学卒の最終学歴別内訳



(7) 雇用就農者（農業法人等への就職）の状況

農業法人への就職就農や農業参入企業等に雇用された新規雇用者数は、182 人となった。

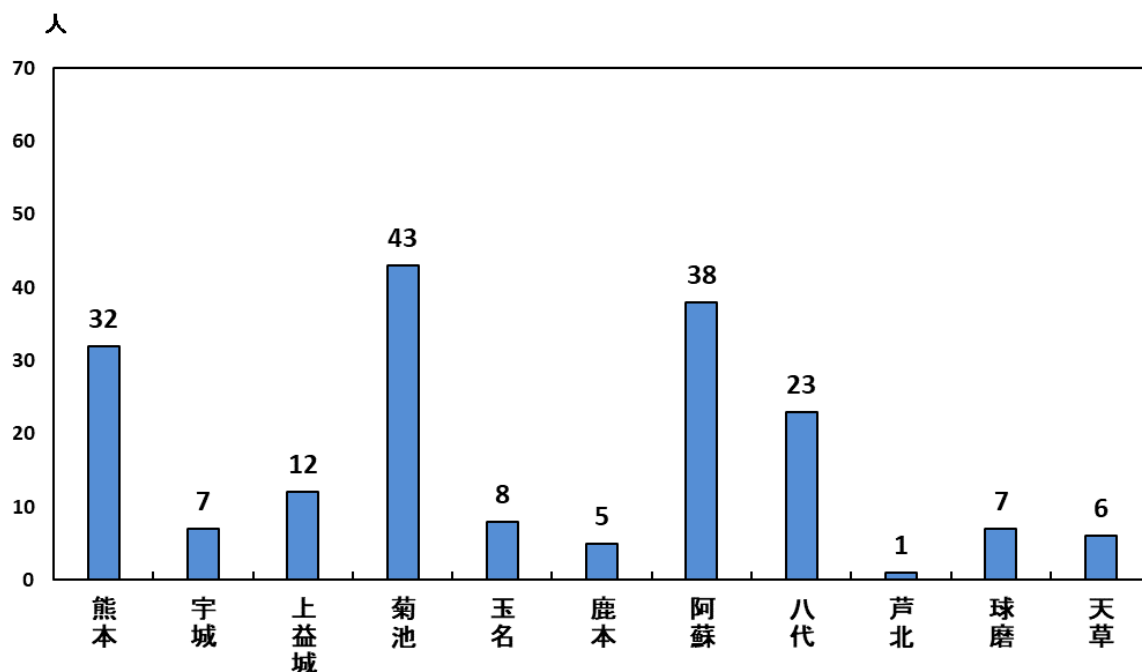
地域別では、菊池地域が 43 人と最も多く、次いで阿蘇地域が 38 人、熊本地域が 32 人となっている。（表 7、図 7）

表 7 雇用就農者（農業法人就職）の実態

（単位：人・％）

地域区分	計				内 訳						備考	
	男	女	計	構成比 (%)	19歳以下	20歳～25歳	26歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳以上		
県中央地域	熊本	31	1	32	17.6	4	9	7	10	2	0	
	宇城	5	2	7	3.8	1	1	2	2	1	0	
	上益城	9	3	12	6.6	3	2	1	1	3	2	
県北地域	菊池	34	9	43	23.6	4	22	3	7	5	2	
	玉名	5	3	8	4.4	0	3	2	3	0	0	
	鹿本	4	1	5	2.7	1	2	0	0	1	1	
	阿蘇	16	22	38	20.9	3	14	3	8	4	6	
県南地域	八代	22	1	23	12.6	7	7	5	3	0	1	
	芦北	1	0	1	0.5	0	0	1	0	0	0	
	球磨	6	1	7	3.8	2	1	0	0	4	0	
天草	4	2	6	3.3	2	0	0	2	2	0		
合 人 員	137	45	182		27	61	24	36	22	12		
計 構 成 比 (%)	75.3	24.7	100.0		14.8	33.5	13.2	19.8	12.1	6.6		

図 7 地域別雇用就農者の状況



（注）令和 4 年（2022 年）5 月 1 日～令和 5 年（2023 年）4 月 30 日の 1 年間に、雇用期間の定めのない正規の従業員（1 週間の労働時間が 35 時間以上）として雇用契約を締結した者

(8) 新規就農者の定着状況に関する調査結果について

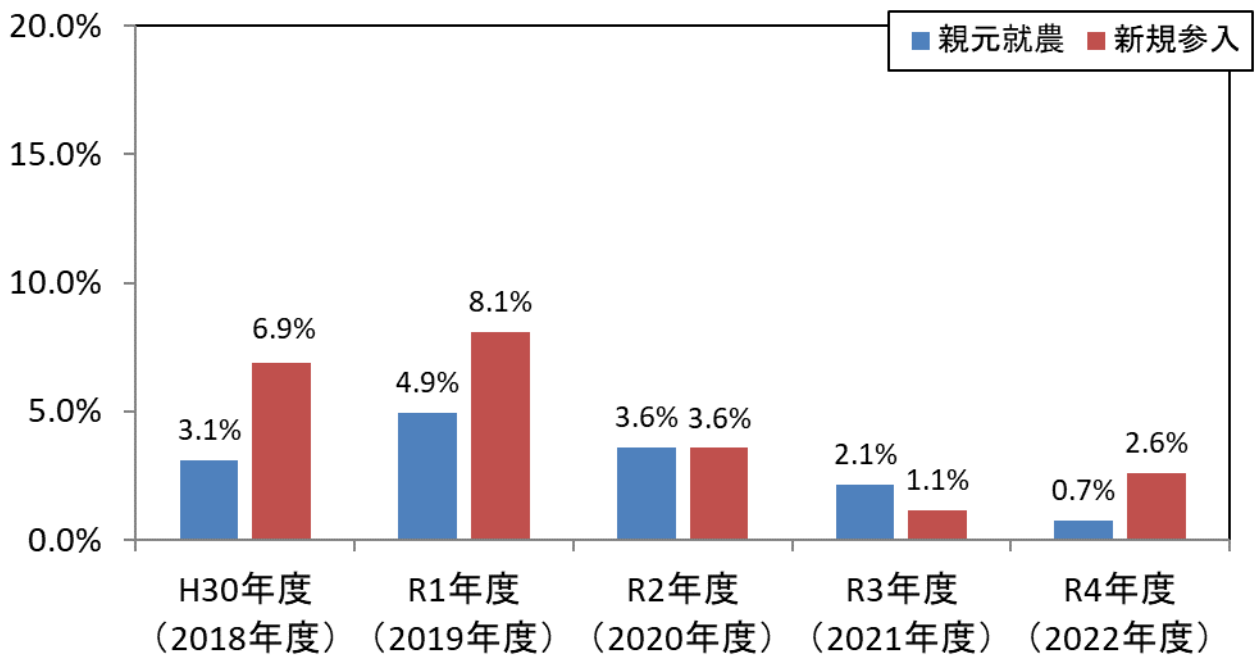
平成30年度(2018年度)から令和4年度(2022年度)までの過去5カ年間に新規就農した者の定着状況について調査した結果、平成30年度に新規就農した者のうち離農したのが13人、令和元年度が15人、令和2年度が9人、令和3年度が5人、令和4年度が3人となった。(表8, 図8)

表8 新規就農者の離農状況

(単位: 人、%)

区分	H30年度 (2018年度)			R1年度 (2019年度)			R2年度 (2020年度)			R3年度 (2021年度)			R4年度 (2022年度)		
	就農者 (人)	離農者 (人)	離農率 (%)	就農者 (人)	離農者 (人)	離農率 (%)	就農者 (人)	離農者 (人)	離農率 (%)	就農者 (人)	離農者 (人)	離農率 (%)	就農者 (人)	離農者 (人)	離農率 (%)
親元就農	193	6	3.1%	142	7	4.9%	167	6	3.6%	187	4	2.1%	137	1	0.7%
新規参入	102	7	6.9%	99	8	8.1%	84	3	3.6%	87	1	1.1%	77	2	2.6%
計	295	13	4.4%	241	15	6.2%	251	9	3.6%	274	5	1.8%	214	3	1.4%

図8 親元就農と新規参入の離農率比較



(参考)新規就農者の就農準備資金・経営開始資金（農業次世代人材投資資金）の活用状況について

本年度の新規就農者(新規雇用者を除く)220人のうち新規就農者の就農準備資金・経営開始資金（農業次世代人材投資資金）の交付を受けた人数は、就農準備資金（準備型含む）が27人、経営開始資金（経営開始型含む）が77人で、合計104人であった。

（表9）

なお、熊本県の令和4年度（2022年度）の就農準備資金・経営開始資金（農業次世代人材投資資金）交付者数は全国2位の553人であり、その内訳は経営開始資金（経営開始型含む）が493人（全国2位）、就農準備資金（準備型含む）が60人（全国6位）となっている。（表10）

表9 新規就農者の就農準備資金・経営開始資金（農業次世代人材投資資金）の活用状況

（単位：人）

		全体数		就農準備資金・経営開始資金交付数			
				合計 （重複交付除く）		就農準備資金 （準備型含む）	経営開始資金 （経営開始型含む）
		うち50歳未満					
新規就農	新規学卒	41	41	9	(8)	3	6
	Uターン	93	88	25	(22)	5	20
	新規参入	86	74	70	(53)	19	51
	計	220	203	104	(83)	27	77

表10 令和4年度（2022年度）就農準備資金・経営開始資金（農業次世代人材投資資金）交付実績

	交付者数	備考
就農準備資金 （準備型含む）	60	全国6位
経営開始資金 （経営開始型含む）	493	全国2位
計	553	全国2位

（国公表資料）

2 青年農業者の概要

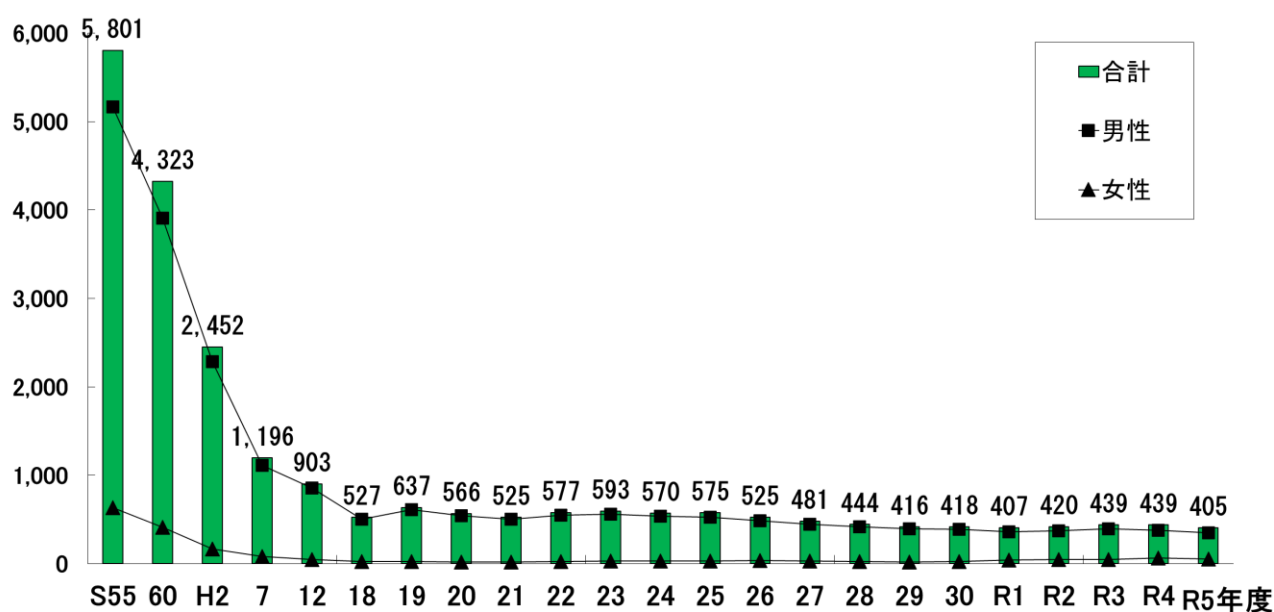
(1) 青年農業者の年次別推移

青年農業者（25歳以下の農業者）の推移を見ると、昭和55年度の5,801人をピークに、昭和60年度には4,000人台、平成2年度には2,000人台、平成7年度には1,000人台へと減少し、平成8年度以降減少率は穏やかになっていったが、平成12年度からは、1,000人を割り込んだ。

527人に落ち込んだ平成18年度以降、平成19年度に600人台となった以外は、平成22年度577人、平成23年度が593人、平成24年度が570人、平成25年度が575人と500人台後半でほぼ横ばいとなっていたが、平成26年度は525人となり、平成27年度は481人と、初めて500人を下回った。（図9）

令和5年度(2023年度)は405人となり、男女別内訳は、男性350人（86.4%）、女性55人（13.6%）となった。

図9 青年農業者の年次別推移



(2) 地域別青年農業者の内訳

地域別に見ると、八代地域が 88 人で県全体の 21.7%を占めており、次いで菊池地域が 68 人 (16.8%)、熊本地域が 55 人(13.6%)となっており、この 3 地域で全体の 52.1%を占め、他の地域に比べ多くの青年農業者が確保されている。(表 11)

青年農業者が「1～10 人未満」は 26 市町村、次いで「10 人～30 人未満」は 10 市町、「30～50 人未満」は 1 市、「50～100 人未満」は 2 市となっている。

また、青年農業者が全くいない市町村は 6 市町村となっている。(表 12)

表 11 青年農業者の地域別・年齢別内訳

(単位：人・%)

区分	計				内訳							備考	
	男	女	計	構成比 (%)	19歳以下	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳		
県央地域	熊本	51	4	55	13.6	2	5	9	7	5	17	10	
	宇城	17	4	21	5.2	0	1	3	6	2	4	5	
	上益城	21	4	25	6.2	2	1	1	3	5	8	5	
県北地域	菊池	56	12	68	16.8	4	8	5	5	18	14	14	
	玉名	33	7	40	9.9	0	3	5	6	11	8	7	
	鹿本	15	2	17	4.2	0	2	3	3	3	4	2	
	阿蘇	28	10	38	9.4	1	3	5	2	8	6	13	
県南地域	八代	81	7	88	21.7	0	6	9	26	13	16	18	
	芦北	2	0	2	0.5	0	0	0	0	2	0	0	
	球磨	30	5	35	8.6	0	1	6	4	8	9	7	
	天草	16	0	16	4.0	0	6	1	4	1	2	2	
合計	人員	350	55	405		9	36	47	66	76	88	83	
	構成比 (%)	86.4	13.6	100.0		2.2	8.9	11.6	16.3	18.8	21.7	20.5	

表 12 地域別青年農業者の内訳

(単位：市町村)

区分	市町村数	内訳						備考	
		0	1～10人未満	10～30人未満	30～50人未満	50～100人未満	100人以上		
県央	熊本	1	0	0	0	0	1	0	
	宇城	3	1	1	1	0	0	0	
	上益城	5	0	4	1	0	0	0	
県北	菊池	4	0	1	2	1	0	0	
	玉名	6	0	5	1	0	0	0	
	鹿本	1	0	0	1	0	0	0	
	阿蘇	7	0	6	1	0	0	0	
県南	八代	2	0	0	1	0	1	0	
	芦北	3	2	1	0	0	0	0	
	球磨	10	3	6	1	0	0	0	
	天草	3	0	2	1	0	0	0	
	計	45	6	26	10	1	2	0	
	構成比 (%)	100.0	13.3	57.8	22.2	2.2	4.4	0.0	